Akita University

はじめに

　このたび，本園で昨年度から３年計画で取り組んでいる研究主題「自発的活動としての遊びを中心とした保育」の２年目のまとめとして，研究紀要を発行することとなりました。

　昨年度に幼稚園教育要領の改訂が行われ実施されました。今回の幼稚園教育要領では保育所保育指針，幼保連携型認定こども園教育・保育要領の３～５歳児の保育内容との一層の共通化が図られています。幼稚園では，幼児の自発的な活動としての遊びを十分に確保することが何よりも必要であるとされ，それは，遊びにおいて幼児の主体的な力が発揮され，生きる力の基礎ともいうべき生きる喜びを味わうことが大切だからであるということです。このことから，本園では昨年度から，研究主題「自発的活動としての遊びを中心とした保育」のもとに実践研究に取り組んでまいりました。

　この研究主題のもと２年目となる今年度は，サブテーマを「子ども主体の生活と保育者」として，幼稚園における保育者の役割や子どもにとっての保育者の存在に注目して，子ども主体の生活が実現されるための保育者のあり方について見つめ直してまいりました。子どもの思いや願いについて，どのような形で返していくことができるのか，実践から学んで，保育者として共に成長して行きたいという思いもこめて，この研究紀要をまとめました。

　本園は大学附属の幼稚園であり，地域の研究拠点としての役割も担っています。この研究が，本園のみならず他の保育施設も含めて，すべての子どもの幼児期にふさわしい生活を考えるうえでの共通の指針となれば幸甚でございます。

　次年度は，「環境」に焦点を当てて，３年計画の研究の３年目のまとめを行いたいと考えております。

　最後に，ここで発表させていただきましたことにつきましては，忌憚のないご意見・ご指導をくださいますようお願い申し上げます。

園長　　宇野　力